

近畿の未来を見つめて、新しい地域づくりを考える News 近畿圏広域地方計画 ニュース 2008.8 vol.10



国土交通省 近畿地方整備局

近畿圏広域地方計画推進室
TEL. 06-6942-1141(代)

Report 近畿圏広域地方計画レポート

広域的に連携した「主要プロジェクト(案)」や「新たな公」はどうあるべきか

第4回 近畿圏広域計画検討会議を開催

平成20年5月13日、第4回近畿圏広域計画検討会議が、ホテルニューオータニ大阪で開かれました。この会議は、近畿圏の府県知事、政令市市長、国の機関の長、主な経済団体の長等が、近畿圏広域地方計画の策定に向けて議論するために設けられており、第1回から第3回までに、「近畿圏の目指す姿」がおおむね合意され、「実現するための戦略」等を討議してきました。この日は、戦略を一步進めた、具体的な取り組みとなる「主要プロジェクト(案)」や国土形成計画(全国計画)で提唱された『新たな公』の関西でのあり方について、活発な意見が交わされました。

Topics

01 どんな取り組みをすべきか

- ◆関西全体を視野に入れたプロジェクトづくりを考えるべきである。
- ◆国、地域でそれぞれ分担すべきことを明記して、メリハリを効かせた計画にすべきである。
- ◆計画の実行のために、縦割り行政の国の機関、横割り行政の各府県の違いを克服することが必要。
- ◆農業と企業の連携など第一次産業についても、プロジェクトとして位置付けるべきである。

など、プロジェクトのあるべき姿について提言されました。



- ◆大都市連携による中枢機能の確保
産業拠点は、大都市周辺だけでなく、田舎やその周辺でも機能的な分化をしたミニ集積の可能性を追求すべき。



- ◆広域・国際観光圏の形成
圏域外とつながるインフラ整備を行い、北陸・信州・中部を取りこみ、関西圏への求心力を強化すべき。また、福井～鳥取の日本海側観光ルートも重視すべき。
- ◆次世代産業の創造
次世代エネルギー産業や情報産業などの戦略を追加すべき。

など、たたき台となった案に多くの意見が寄せられました。



Topics

02 プロジェクト(案)について

- ◆大阪湾ベイエリアの再生
関西国際空港のさらなる活用や、関西・伊丹・神戸3空港の一体的な管理・運営の提言があり、スーパー中枢港湾阪神港の利点を生かす位置付けが必要である。
- ◆広域ネットワークの形成
関西には新幹線・名神・新名神等の東西交通軸に比べて南北交通軸が少なく、道路整備や北陸新幹線も念頭においた計画をつくるべき。南北近畿の自立に向けた、内需型・内陸型の経済発展を目指して、交流ネットワーク整備や高速道路等の料金体制の改善を目指すべき。
- ◆水と緑のネットワーク
南北近畿の本物の自然を「緑のヒンターランド」としての活用を考えてもいいのではないかと。
- ◆広域生活圏の形成
小規模集落は周辺集落との連携強化よりも大都市圏とタイアップして連携交流することが必要。小さな生活圏域というワンセットの発想では、存続が難しい。また、小さな町村には歴史と文化があり、そうした町村にも配慮してほしい。

Topics

03 「新たな公」の役割について

- ◆各主体が自己責任を果たすことが原則であり、「新たな公」として、民の力を借りることは官の責任を曖昧にする恐れがある。
- ◆市民の皆さんに「公の意識」に目覚めてもらうことは非常に重要で、地域整備にとっても重要な柱になるのではないかと。

などの意見が出されました。

「第4回近畿圏広域計画検討会議」

<主な出席者>

橋下 徹(大阪府知事) 矢田 立郎(神戸市長)
井戸 敏三(兵庫県知事) 岡井 康徳
荒井 正吾(奈良県知事) (近畿ブロック府県町村会会長・河合町長)
仁坂 吉伸(和歌山県知事) 秋山 喜久(関西広域機構会長)

その他、検討会議委員メンバーが出席されました。

<敬称略・順不同>

これらの議論を受けて、ニュースレターをご覧の皆さまからもご意見をお待ちしております。

近畿をめざす姿を先取りする先進性や広域性を備えた、各府県のプロジェクトを紹介するシリーズ企画「クローズUP 近畿」。第2回は、京都府の「舞鶴港湾多目的国際ターミナルの整備」です。

クローズUP 近畿

in KYOTO

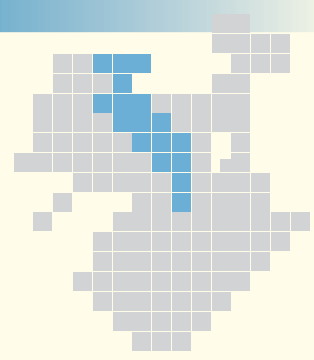
日本海から世界へ向けた 近畿圏のゲートウェイ

～京都舞鶴港・多目的国際ターミナルの整備～

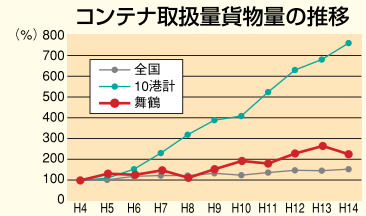
多目的国際ターミナル

日本海側最大級、大型コンテナ船用の接岸ふ頭を整備

- ◆整備の目的は、「国際物流の効率化・高度化への対応」「北東アジア経済圏の発展への対応」「アジアと近畿を結ぶ物流拠点の整備」「京都府北部地域の産業振興・地域活性化の核をつくる」ことにあります。
- ◆多目的国際ターミナルとして、京都舞鶴港の和田ふ頭（和田地区沖合100mの埋立地）に、5万トン級の大型貨物船が接岸可能な大型岸壁と、広大なコンテナヤードを整備しています。
- ◆整備の背景には、ロシア・韓国・中国など日本海をはさんで向き合う「北東アジア経済圏との対岸貿易」が急速に増加していることが挙げられます。
日本海側の主要港湾では、コンテナ取扱量が急増中で、京都舞鶴港でもこうした需要に対処できる物流拠点の完成が期待されています。



舞鶴港空撮

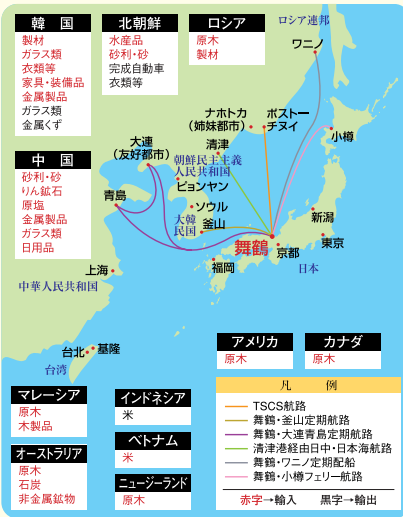


現況

舞鶴市を世界にはばたく交流ネットワーク都市へ

- ◆和田ふ頭の「第一期工区約13.7ha（甲子園球場の約3.5倍）」の岸壁整備が進行中で、平成22年春には一部供用開始が予定されています。
- ◆京阪神主要都市から多目的国際ターミナルへのアクセス（臨港道路）のポイントとなる「みなと安久トンネル」は平成17年9月に貫通。平成22年春には臨港道路が供用できるよう、現在整備が進められています。

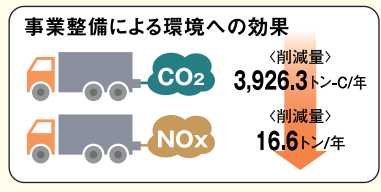
みなと安久トンネル計画概要図



整備効果

近畿圏の経済活性化に貢献、港町舞鶴のにぎわいも創出

- ◆海上輸送の効率化 コンテナ船の大型化で、輸送コストの低減などの大幅な効率化が実現します。
- ◆陸上輸送の効率化 臨港道路と「舞鶴若狭自動車道」「京都縦貫自動車道」が結ばれることで、京阪神経済圏と直結し、輸送コストの低減等が実現します。
- ◆地域の活性化 近畿の物流拠点となることで地域の産業・経済が活性化します。
- ◆良好な環境の保全 京阪神都市圏との交通の円滑化により、排気ガスや騒音が低減されます。
- ◆国際交流の振興 成長著しいアジア経済圏との交流が緊密化します。



近畿が変わります Revive KINKI

近畿圏広域計画検討会議は、以下の機関で構成されています。

<府 県> 福井県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 鳥取県 岡山県 徳島県

<指定都市> 京都市 大阪市 堺市 神戸市

<市町村> 近畿市長会 近畿ブロック府県町村会

<経済団体等> (社)関西経済連合会 大阪商工会議所 (社)関西経済同友会 関西経営者協会 京都商工会議所 神戸商工会議所 堺商工会議所 関西広域機構

<国の地方支分部局> 警察庁近畿管区警察局 総務省近畿総合通信局 財務省近畿財務局 厚生労働省近畿厚生局 農林水産省近畿農政局 林野庁近畿中国森林管理局 経済産業省近畿経済産業局 国土交通省近畿地方整備局 国土交通省近畿運輸局 国土交通省神戸運輸監視部 国土交通省大阪航空局 気象庁大阪管区気象台 海上保安庁第五管区海上保安本部 海上保安庁第八管区海上保安本部 環境省近畿地方環境事務所

●ホームページでさらに詳しい情報を提供しています。

国土形成計画 近畿圏広域地方計画
<http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/>

アクセスは、検索サイトから

近畿圏広域地方計画 検索